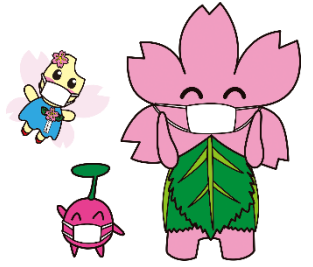


桜井谷小学校だより 11月号

令和2年11月2日
豊中市立桜井谷小学校
校長 北之防 純子

季節の変わり目です。

体調管理に気をつけましょう。



朝夕はずいぶん涼しくなりました。「寒い～」と感じる朝もあります。日中の気温差もあります。先週は、「腹痛があります。」「熱はありませんが、頭痛で…」と欠席連絡が増えました。新型コロナウイルス感染症の患者数もなかなか減らない状況です。10月27日に豊中市長メッセージが以下のように出されました。

10月27日(火曜)、豊中市在住の、19の方が新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。また、市内の医療機関において集団感染が確認されています。

感染された方には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復を心からお祈りいたします。

現在、豊中市保健所が調査を行い、濃厚接触者として対応が必要な方へは、保健所から指導・助言を行っています。

また、市立豊中病院の感染管理認定看護師の派遣や、衛生用品等の備蓄資材を提供するなど、本市としても全力で当該医療機関をバックアップし、地域の医療をしっかりと支えていきます。

市民の皆さまにおかれましては、あらためて手洗い、マスク着用、咳エチケットなどの感染防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

令和2年(2020年)10月27日
豊中市新型コロナウイルス感染症対策本部長
豊中市長 長内繁樹

いつ、どこで感染するかはわかりません。濃厚接触者となってしまうこともあります。うわさや風評被害を生じさせないよう「正しく怖がること」、個人情報取扱に配慮するなど、今一度、偏見を持たず差別をしない、許さない心を持ちたいと思います。

「カイロ」について【お願い】

体調不良時に「カイロ」を使用したいとお考えだと思います。昨年度末の反省の中で、子どもたちが「カイロ」を持ってきて、投げ合ったり袋をやぶってしまったたり、困った事案が続きました。そこで、本校としまして、体調不良時には、「貼るカイロ」を使用し、担任に一声かけていただくようお願いいたします。それ以外は、「カイロ」を持参しないといたします。ご理解いただきますようお願いいたします。



5年 地域の田んぼボランティアさんと 稲刈り・脱穀をしました！

10月16日(金)の5・6時間目に5年生は、稲刈りを行いました。今年は、雨が長く続いて、少し稲の実りが少ないようです。田んぼボランティアのみなさんに来ていただき、かまの持ち方や稲の刈り方を教えていただきました。そして、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」のお話がありました。意味は、「立派な人ほど謙虚な姿勢であること」です。謙虚さを持って人と接することを大切にしてほしいと思います。今年は、コロナ禍の中で、米づくりも無理かな…とっていました。6月の学校再開にあたり、田んぼボランティアのみなさんのお力で子どもたちが田植えをすることができました。運動会が終わり稲刈りを行い、そして10月26日(月)5・6時間目に脱穀を行いました。昔の道具の「千歯こき」「足ふみ脱穀機」「唐箕」を使って脱穀の体験を行いました。乾燥させた稲の穂先から籾を落とす作業が脱穀です。千歯こきでは、鉄の歯の隙間に稲の穂先を入れて、引き抜くと籾だけが落ちます。現代では、コンバインで稲刈りと脱穀が一気にできますが、昔は、手作業ですべて行っていたことを子どもたちは、実感できたと思います。桜井谷小ならではの「米づくり」体験です。これも田んぼボランティアの方々が指導支援をしてくださっているので、できていることです。本当に、ありがとうございます。次は、「わらうち・しめ縄作り」を体験します。



★学校の様子は→ [桜井谷小学校ホームページ](#)

